

2010年10月25日

社員による社会貢献基金「フライングスター基金」車いす送迎車6台を寄贈

アステラス製薬株式会社（社長：野木森雅郁、以下「アステラス製薬」）の社員による社会貢献基金である「フライングスター基金」は、このたび会社とのマッチングギフト方式により、全国の6箇所の福祉施設に6台の車いす送迎車を寄贈することを決定しましたのでお知らせします。同基金による車いす送迎車の寄贈は、社会貢献活動の一環として1997年より毎年数台の規模で続けているもので、このたびの寄贈により累計で159台^{*1}となります。本基金の名称に使われている「フライングスター」とは、未来に向かって進む美しく輝く星を表すアステラス製薬のコーポレートシンボルの名称です。

本基金は、ささやかでも継続できる社会貢献活動を目的に、社員が中心となって1996年9月に発足した基金であり、人々の健康と福祉の向上に寄与することを活動目的としています。同基金への参加は社員の自由意思に委ねられていますが、現在、アステラスグループ社員約5,300名が参加しています。加入者は毎月の給与より100円を基金に積み立て、それに会社が同額を拠出したものを原資として年1回の寄付を実施する仕組みになっています。

今回寄贈する車両は、車いすにベルトフックをセットし、車両に備えつけられたスロープ上を電動ウィンチにより確実に移動させられるよう設計された車いす仕様の軽自動車^{*2}3台と、同じ機能を持ち車いすを2脚乗車させることができる普通自動車^{*3}3台です。寄贈先は、肢体が不自由な方々の自立支援や仕事のための施設などが選ばれました。寄贈された車は施設に通う際の送迎や屋外活動時の移動などに役立てられる予定です。

また、本年は、基金が発足して15年目を迎えることから、これを記念して、日本グッド・トイ委員会、日本クリニックラウン協会、日本ホスピタル・クラウン協会に対し、新たに寄付を行ないます。この寄付金は、これらの団体が行なうホスピタルキャラバン（全国の病院に良質なおもちゃを詰めたおもちゃ箱を巡回させる）、クラウン（道化師）によるイベントの開催に用いられ、入院して闘病生活を送る子供たちに笑顔を広めていく活動に役立てられます。

<寄贈先>

青森県黒石市	: 「山郷館くろいし」
山口県宇部市	: 社会福祉法人「神原苑 障害者支援センター」
長崎県佐世保市	: 合同会社「ケアパートナー」
大阪府和泉市	: NPO法人「ぷちとまとの会 タイムケア事業所」
香川県高松市	: NPO法人「障害児者 ゴーゴースクラム」
佐賀県鳥栖市	: NPO法人「しょうがい生活支援の会 すみか」

*1：2003年は記念事業として80台を寄贈

*2：ダイハツ アトレスローパー（4WD）

*3：トヨタ ノア ウェルキャブ車いす仕様車（4WD）車いす2脚仕様

以上